

ありがとう

これからも
よろしくお願いします

先日、30年表彰を頂きました。30年も長く勤めてこれたのは、周りの職員の皆様、保護者の皆様、そして利用者の皆様のおかげと心より感謝しております。

私は、札幌報恩学園へ学生の時、当時の3寮で実習させて頂きました。楽しい実習となり、ぜひ札幌報恩学園で働かせて頂きたいと思い、縁あって入職させて頂きました。

現在は、当時とだいぶ景色も変わりました。土俵が無くなり、プールもグラウンドも体育館も無くなりました。すもう大会、学芸会、クリスマス会では職員の出し物、グラウンドでは職員も汗を流し、男子野球部に女子ソフトボール・・・。楽しかった日々が走馬灯のように蘇ってきます。

しかし、昔を懐かしんでばかりではられません。今の自分と向き合い、日々精進し前を向いて進んで行きます。これからも、利用者様と一緒に歩んで行きたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。



支援係長 松井 千春

勤続40年を迎えて・・・

昭和52年4月に札幌報恩学園成人寮(現在のグリーンホーム厚別)入職し、平成29年4月で勤続40年を迎えました。グリーンホーム厚別で28年、その中の25年間は農耕班で利用者様と共に大根、トウモロコシ、ジャガイモ、カボチャ等の野菜40種類以上を栽培し、学園の食堂に収め利用者様に新鮮な野菜を食べて頂きました。また、保護者様、職員、地域の皆様に利用して頂きました。その後札幌報恩学園に5年、ワークショップ上野幌に5年、札幌報恩学園2年大きな病気、怪我等もなく40年が経過しました。



法人業務課長 峯岸 純一

たくさんの出来事や思い出はありますが、大きく分けて8項目にまとめてみました。①施設の呼び名が精神薄弱者から知的障がい者と呼ぶようになった。②利用者様、職員の人数が増えた。(利用者数約230名から500名、職員数約80名から350名)③建物が新しく、近代的になった。(汲み取りトイレから水洗トイレ)④法人行事(収穫祭から報恩まつりに変更、内容も変化)⑤まごころ保育園(平成24年)、中央区に幌西ほうおん(平成29年)が開設した。⑥公用車の数が3台から25台に増えた。⑦利用者様の年齢が20才代から60才代になってきた。⑧学園の回りが牧草地と山林だった風景が住宅街、地下鉄、道路等の交通の便、近くに専門の病院、店舗等ができ安全で住み良い地域になってきた。

その他にも数えきれない出来事がたくさんありました。以上の事を振り返ると学園内外の変化はとても大きいものでした。今年(平成30年)は創立100周年、上野幌に移転して56年(昭和37年12月)になります。また移転して100年を目指し地域と共に発展していく事と思います。私もあと数年の勤務を大切に、利用者様の為に元気に過ごして行きたいと思います。